

県民のみなさんへ

熊本県知事 細川護熙



明けましておめでとうございます。県民の皆様にはご家族おそろいで佳き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。さて、あと十五年で二十一世紀を迎えるわけですが、県ではすでに二十一世紀を見据えた、いわば県民の行動指針というべき「熊本・明日へのシナリオ」を策定し、実行に移しています。

くまもと日本一づくり運動も県下各地で盛んな取り組みが行われており、大変心強く思っております。各地におけるこれらの熱心な地域づくりは、必ず市や町や村の新しい飛躍となることを信じております。昨年は、全国植樹祭や文化庁芸術祭など数多くの大きな催しを本県で開催いたしました。今年も八月一日から十三日間、緑と水の博覧会として全国都市緑化フェア（グリーンピック'86）を水前寺江津湖公園で開催いたします。全国から百万人のお客様がおいでいただくことを予想して、準備に全力を注いでおります。また、県内では、テクノポリス建設が着実に前進を続け、四月からはいよいよテクノリサーチパークの分譲が始まり、テクノポリスセンターも秋には完成の予定です。また、国際展示場の建設や力強い農業の拠点になります農業研究センター建設、水産振興のためのマリノベイション（沿岸沖合総合開発）構想も具体化してまいりたいと考えております。いずれにせよ、今年も、強い熊本づくりをめざして、こまやかな気配りをしながら足もとをしつかり固めて、各施策を一つずつ着実に実行していく年であらうと考えております。県民の皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。

県政トピックス

本年八月開催に向けて着々とクマモトグリーンピク'86実行委員会事務局開き



本年八月から熊本市の水前寺江津湖公園で開催される、「クマモトグリーンピク'86」の実行委員会事務局が、昨年十一月六日、会場内に移転し、事務局開きが行われた。事務局がある、熊本市の「緑の相談所」の建物は、開催中、会場のメインゲートとして利用されることになっている。



この成功をこれからのステップに。文化庁芸術祭熊本公演終わる



十一月三十日、「芸術文化'85秋・熊本推進会議」が熊本市のニースカイホテルで開かれた。これは、約二カ月にわたって開かれていた芸術祭の催しが一部を除いて終了したため、その締めくくりとして、県下の五十人近い文化関係者を集めて開かれたもの。会議では、観客数が三万六千三百十人を数えたとの報告があり、この成功を踏まえて来年以降も、県芸術祭の中に、中央の一流の催しを取り入れていくことが話し合われた。

九州各県からハイテク企業三二社出席。

九州ハイテク会議開催

十一月二十九日、九州各県の先端企業が一堂に会し、意見を交換する「第一回九州ハイテク会議」が、熊本市のホテルキャッスルで開かれた。一昨年十月、中曽根首相来熊時に開かれた首相と九州のハイテク関係者との懇談会がきっかけとなったもので、今回も九州各県からハイテク企業二十二社のトップが出席した。会議では、各企業間の連携、テクノポリスへの参加と支援、産・学・協力のなどが話し合われ、「相互の連携交流で九州の地域振興、経済活性化に貢献する」という熊本宣言を採択して終わった。



台湾からの貴重なプレゼント。「四庫全書」県立図書館に贈呈される

十二月六日、県立図書館で「四庫全書」の贈呈式が贈呈主である台湾の代表者らを迎えて開かれた。「四庫全書」は、清朝の時代、千人以上の学者が、当時集め得る限りの重要文書を筆写編纂したもので、完成までに十数年を要したという貴重な資料。



県文化協会が中心となって結成した「県民文化資料集大成委員会」の熱心な働きかけにより、今回の贈呈が実現された。



いよいよ二、四四七段目！中央町の釈迦院石段日本一達成！

下益城郡中央町に建設が進められている釈迦院参道の石段が、十一月十五日に、山形県羽黒山参道の二千四百四十六段を抜き、日本一となった。完成時は約三千五百段となる。「日本一づくり運動」の一環として建設されているこの石段は、完成前から人気を呼び、多くの観光客を集めている。地元では、早くも新しい特産品づくりや宿泊施設の建設などの計画が持ち上がり、新しい地域づくりの夢が広がっている。



とれたてのフレッシュさを東京へ。阿蘇イチゴ航空輸送出発式

十二月十三日、熊本空港で阿蘇イチゴの航空輸送出発式が開かれた。阿蘇町の山田農業協同組合では、高冷地の特性を生かしたイチゴづくりに励んでいるが、実がしまっていて、日持ちが良く、糖度が高いことなどで、好評を博している。今回、大市場である東京に新鮮なものを届けようと、航空機輸送することとなった。今年も、全国的に品不足で、高値を呼びそうだ。

